

結晶母

『結晶母』第1号

題字；長谷川真由子

『結晶母』

結晶ができる時、最初にうまれる結晶。

それが結晶母。

結晶母の周りに同じ形をした元素が集まって、

ひとつの大きな結晶をつくる。

ひとつひとつの結晶は小さくても、

結晶母を中心に集まった大きな結晶のネットワークは

強く、たくましい！

そんな大事な結晶母の役割を、

地球に住むひとりひとりが果たせたら・・・。

そんな願いを込めて、名付けました。

【目次】 1P…表紙、2, 3P…誌上平和セミナー、4, 5P…シリーズ『テラ・ルネッサンス』第1回、
6, 7P…活動報告、8P…テラ・ルネッサンスへのメッセージ（相馬雪香さん）、9P…講演会特集、10P…会員募集など

「地雷」

■ 地雷の特徴

1、残虐性

- ・地雷は殺すためではなく、手足を失わせることを目的とした兵器
⇒死体は置き去りにできるが、傷ついている味方は置き去りにできない
- ・何人かの隊員で負傷兵を安全な場所へ運ばなければならないため、殺すよりも敵の戦闘要員を減らすことができる。また、味方が足を吹き飛ばされて苦しんでいるのを見せることで戦闘意欲を喪失させる

2、無差別性

- ・殺傷する相手を選別することができない
- ・被害者の80%は非戦闘員、その3割は14歳以下の子供
- ・つまり、全体の24%は14歳以下の子供

3、残存性

- ・戦争が終わっても地雷は、そのまま地中で生き続ける
- ・50年以上前の地雷による被害も毎年数十件報告（ポーランド、エジプトなど）
- ・地雷は撤去されるか、誰かが踏むまで何十年と生き続ける

4、安価

- ・最も安い地雷は3ドル程度でできる
- ・高価な兵器を買うことが出来ない途上国、反政府ゲリラにとっては手頃な兵器
⇒地雷に苦しんでいるほとんどの国（自ら生産している国は稀）は途上国で紛争終結後の撤去資金も自国で捻出出来ない
- ・このような理由により撤去も遅れ、地雷の被害者が増加していく
- ・こういった特徴を持つ地雷は様々な別名を持つ
「貧者の兵器、貧者の守護神、悪魔の兵器、スローモーションの大量殺戮兵器、眠れる兵士…etc.」

■ 対人地雷 (APM Anti-Personal Mine) の種類と特徴

1、爆破型地雷

- ・直径 5~15cm
- ・爆発する重さは、種類によって異なる
- ・上からの圧力により起爆装置が作動し、信管に通電して本体の爆薬に引火
- ・単純構造なので大量生産しやすい

2、破碎型地雷

- ・地表の物陰などに隠して使用（地中に埋めない）
- ・爆発により地雷本体が砕け、飛び散り、時速 100km で周囲 20~30m 四方にいる標的を殺傷する
- ・鉄くずや鉄球が内包されている種類もある
- ・紐をピンにつなげておくと、標的が紐にかかるピンが外れ、起爆装置が作動する仕組み

3、跳ね上げ型地雷

- ・地雷本体が地表から跳ね上がり、地表から 1~2m 飛び上がり本体が爆発
- ・他の地雷とは違い、被害を与えるのは人の胴体、内臓、頭部
- ・人の生命を奪うことが目的。車両に乗っている人にも怪我を負わせる

4、散布型地雷

- ・航空機やヘリコプター、地上の車両から散布する地雷
- ・ロケット弾やミサイルの中に地雷を詰めて爆破の勢いで広範囲に地雷を散布も可能
- ・それぞれが小さいため、気づかずに踏んでしまう
- ・民間人を対象とした蝶々型のピンクの地雷、人形型の地雷もある

5、スマートマイン

- ・自己破壊装置または自己活性化装置付きの地雷のこと
- ・一定時間後、自爆もしくは無力化する

しかし…

・これがしっかり起動するのか？作動する確立は7割以下というNGOもある。
本当に無力化しているか爆発させてみないと分からない…自爆したとき近くに人がいたら？

■ 地雷の被害

- ・毎年2万5千～7千人、毎日70～80人、22分に1人
- ・80%は非戦闘員、その3割は14歳以下の子供
- ・被害者の約50%は死亡 生存しても4脚の一つは失うことになる
- ・手足切断者の数はカンボジアでは234人に1人・アンゴラでは2万人を超える
- ・被害者の治療、義足、義手などの障害の経費は3千ドル
- ・被害の多い途上国では不衛生な処置から感染症になり、死亡するケースは50%を超える
- ・事故後6時間以内の処置が重要 →実行可能な割合は30%（アンゴラでは10%以下）

■ 私たちに出来ること

- ・地雷の現状をよく伝えること→講演会の主催
- ・地雷撤去支援活動に参加⇒地雷撤去に関するNGO活動をする
テラ・ルネッサンスHP <http://www.terra-r.jp>
- ・私たちの意思表示により全ての国に対人地雷禁止条約の批准を呼びかける
地雷廃絶署名 地雷ゼロ宮崎が高校生を中心に展開中
- ・地雷の根絶⇒そのためには戦争そのものを起こさない世界的なシステムが必要。

【提案】世界中のNGOが参加する『地球市民国連』の創設

地雷廃絶、核実験の停止などをNGOによるサミットにより決議。決議に従わない国家には世界規模の不買運動を展開。世界中のNGOは数億人規模。その総意は無視できなくなる。

提唱団体 ネットワーク地球村HP <http://www.chikyumura.org>

- ・まずは、世界の現状に関心を持つこと！

マザーテレサ 「愛の反対は無関心」

一日5分でも、自分自身に、大切な人に、そして、
未来の子ども達に思いを馳せましょう。関心を持ちましょう。

そこから地球を変える力が湧いてきます！

『想像力』と言う、地球をはばたくあなたの羽が生えてきます。

設立目的と基本理念

今年 1 年間は、このシリーズ『テラ・ルネッサンス』で、テラ・ルネッサンスとはどのような想いで創られ、活動しようとしているのか、綴ってみようと思います。

●目的 『世界平和の実現』

当会の事業を通じ、人々に『次世代に対する責任』を啓発し、それぞれが個人、家庭人、社会人、そして地球市民として、未来の子供たちの生活をも視野に入れた生活（簡素な生活）を実践することにより、人類共通の理想『世界平和』を実現する

●次世代に対する責任

次世代というのは、普通、子供たちのことを指します。けれども、テラ・ルネッサンスでは遠い未来に生きている子供たちのことも含めます。つまり、まだ生れてきていない『いのち』のことです。そんな生れてもきていない子供たちにまで、責任を感じながら生きていくのは大変だ。という声もあります。

けれども、未来に起こることは、必ず過去に原因があります。ならば、次世代の子供たちに起こることは、今を生きている私たちの行動の結果です。温暖化した地球環境、スモッグだらけの大気、地雷に埋め尽くされた大地……。それら全ては私たちの行動の結果です。その私たちというのは、まさしく私であり、あなたご自身です。私たちの無知、無関心、無責任によって、確実に未来の子供たちは犠牲を強いられます。

●なぜ啓発するの？

その責任を個人個人が自覚していくことが、とても大事です。日々の生活によって、日々の行動によって、未来が決まってくる。次世代の生活内容が決まってくる。すごく重苦しい責任のように思えてきます。けれども、それは逆に転すると「大きなチャンス」ではないでしょうか？

私たちひとりひとり次第で、未来をより良いものにすることができるとです。私たちは政治家でも、経済人でも、有名人でもない。普通の生活者です。その生活者こそが、一番大きな責任を、そして、未来を変えるチャンスを担っているのです。ひとりひとは小さな力でも、心を同じくする人が集まり、未来を見据えて行動を起こせば、劇的に世界はチェンジしていきます。

だからこそ、次世代に対する責任を自覚する人々が増えなければなりません。そのためにテラ・ルネッサンスでは、啓発活動を行なうことを重要視しています。

●個人、家庭人、社会人、そして地球市民

私たちには様々な顔、立場があります。個人、家庭の中だったら父親、母親など、社会の中では、会社の社長、技術者などの職業面での立場です。それぞれがその持ち場のなかで懸命に生きています。

そして持ち場のなかで、様々な人間関係を築いています。あなたご自身が、もし次世代への責任について、その責任を自覚することについて、周囲の方々へ伝えることができたならば、未来のために大きな変革をもたらすことでしょう。

なぜなら、あなたでしか伝えられない人がいるからです。周囲の人々は、あなたの言葉によって気づく人々かもしれないからです。あなたにはものすごい可能性があります。その可能性は多くのいのちを救うものかもしれません。

●簡素な生活 ～生活者の可能性から

先ほど生活者には大きな責任と、可能性があると述べました。なぜでしょうか？

それは生活者が全ての物事を決定付けているからです。政治家でも産業界でもありません。政治家は生活者の投票によって決まります。産業界も生活者の経済状況、好みの変化などに左右されます。

ならば戦争や公害などの問題も、私たち生活者が決定付けたことなののでしょうか。

戦争も公害も、ひとりひとりが招いたものです。もう少し便利に、もう少しリッチに。多くの「もう少し」を実現するために、環境や途上国の人々の生活、いのちが犠牲になってきました。昨年のテロ事件以降、その構図は明らかにされています。

例えば、卑近な例ですが、洗剤の使用を控えるだけで、川はもっときれいになります。多くのいのちが戻ってきます。すごく単純ですが、この暗澹たる世界を変えるのも、同じことです。もう少し生活を簡素にすればいいのです。

●心の地雷「面倒くさい」型

けれども、私たちが「簡素な生活」を目指そうとするとときに、必ず邪魔をするものがあります。それが私たちの心にある「面倒くさい」という想いです。

「面倒くさい」は大きな力を持っているものです。私たちの平和な未来を想い、行動する力を奪ってしまいます。人を無関心にさせていくのです。マザーテレサが「愛の反対は無関心」と残されたように、無関心は人から愛を奪い去ります。

私たちがまず取り除かなければならないのは、心の地雷「面倒くさい」型です。

●世界平和に向けて、始めの一步

テラ・ルネッサンスは『世界平和の実現』という、大きな理想を掲げました。

いつ実現するのか分からない大きな大きな理想です。

けれども、その理想を実現することは簡単なのです。

国際政治、経済システムを変えることでもありません。

ただ、私の心にある地雷を取り除けばよいのです。「面倒くさい」、「無関心」といった言葉と分かれる決心さえできればよいのです。難しそうですか？

では、まず事実を知るところから始めてみましょう。

事実を知ることによって、自分に、人々に関心を向ける大切さを、少しずつ自覚していくことができます。結晶母でも、誌上平和セミナーなどで事実をお伝えしていきます。また、お近くの講演会に参加されると、より深く理解できることでしょう。

一緒に始めてみませんか？

代表 鬼丸昌也

【次号】基本理念について

活動報告①

●MAGと地雷撤去に関する契約を結びました

世界規模で活躍する地雷撤去団体が3つあります。クリス・ムーンさんが撤去指導者として関わっていたHALO TRUST。ノルウェーのノルウェー・ジャン・ピープル・エイド(NPA)。そして、イギリスの元軍人らによって結成されたMAG(Mines Advisory Group)。

今回、テラ・ルネッサンス地雷撤去基金によせられた資金を、MAGの地雷撤去活動への支援に使わせていただきました。計274,351円(1,414.03イギリスポンド)が、7割がカンボジアでの地雷除去、残り3割がラオスにおける不発弾撤去、処理に充てられます。MAG基金担当のスティーブさんは、「皆様のような市民の方のご支援がとてもありがたい。これからも一緒に安全な大地が取り戻せるよう行動していきましょう」と、メールでメッセージを寄せて下さいました。

今後もMAGとの関係を深めながら、地雷撤去活動への支援を行なっていきます。

国際郵便振替請求書(お客様用)
INTERNATIONAL TRANSFER APPLICATION
送金日 14-02-12 送金元 44132 送金時刻 15:04 5 12 FEB. 2002 送金番号 5238965
送金内容 Remittance by 送金額 Amount 送金単位 Rate 送金先口座 Account at payment
電信振替払出 GBP*****1,414.03 GBP1=¥194.02 *274,350

MAGへの送金額 ¥274,350(残金1円は繰越)イギリスポンド 1,414.03

広島市立落合東小学校6年生、宮崎県立宮崎商業高校1年17組、
幸塾全国大会募金(京都雅幸塾)、桜井市立大福小学校6年生、立
正佼成会甲府教会、岡本さと子、亀澤直美、申典子、稲玉美恵子、
小林たか子(敬称略)

ご支援ありがとうございました！今後もよろしくご参加ください。

オタワ条約ミニ講座 オタワ条約って何ですか？(その1)

「オタワ条約」とは、カナダのオタワで結ばれたので、そう呼ばれていますが、正式には「対人地雷の使用、貯蔵、生産および移譲の禁止並びに廃棄に関する条約」という長い名前の条約です。この正式名称からわかるように、この条約は、『対人地雷』の使用、貯蔵、生産及び移譲(他の国に与えたり、輸出したりすること)を禁止し、さらに、今持っている対人地雷は廃棄(二度と使えないように完全に処分すること)することを各国に義務づける内容の条約です。つまり、この条約に加入した国々は、対人地雷を使っても、持っていて、作っても、あるいは売ったり、あげたりしてもいけないし、今持っている対人地雷は全部処分してしまいなさいということで、完全に対人地雷をなくさなければならないのです。

なぜにこのような条約が作られたのかといえば、それは対人地雷による被害があまりにもひどいためです。もちろん地雷という兵器は、ずいぶん昔からあり、長い間多くの国で使われ、多くの犠牲者を出してきました。そして、地雷の使用を制限するための国際会議の開催や、国際的な協定の作成も行なわれてきました。しかし、その内容は、基本的に地雷は敵の軍隊をねらって使うもので、一般の市民には使用しない、また、戦争が終わったらただちに地雷は回収するといったもので、さらに制限の対象となるものも、主に国と国との間の戦争に限られ、国内での使用はあまり有効な歯止めにはならなかったのです。

広瀬訓川さん(宮崎公立大学助教授・地雷ゼロ宮崎会員)

●趙戦国（KCBL（韓国対人地雷対策会議））執行委員長との出逢い

2月20日に大阪市で趙戦国さんとJCBL 北川さんのご紹介でお会いしました。趙さんは韓国対人地雷対策会議（KCBL）のコーディネーター。韓国にも地雷は埋められており、2000年には民間人6名が被災されています。（KCBL 調べ）。その上、今年開催されるワールドカップ開催会場やキャンプ地周辺にも地雷が残存するとされ、一刻も早い除去と、被害者への支援、そして韓国政府の対人地雷全面禁止条約への批准が求められます。テラ・ルネッサンスとしても韓国の地雷被害に対して、何らかのアクションを計画しています。

●地雷ゼロを目指して、署名活動開始！

マスコミ等で報道されている様に、アメリカ合衆国国防総省が、大統領に対人地雷全面禁止条約への不参加、現在保有している地雷の廃棄を行わない旨、進言しました。クリントン政権時代には、代替兵器の開発を条件に、2006年の条約調印を公言していました。地雷廃絶という、多くの人々の夢が消え去る手前に来ています。現在、地雷ゼロ宮崎の高校生会員を中心に、アメリカの条約参加を求める署名活動を始めています。すでに3,000名以上の署名が集まっているそうです。テラ・ルネッサンスも5月に大規模な署名、募金活動を展開します。ぜひとも皆様のご協力よろしくお願いいたします。

●副代表に川村幸司さんが就任

テラ・ルネッサンス副代表に川村幸司さん（25）が就任することになりました。川村さんは高知県生れで、立命館大学政策科学部出身です。様々なことに関心を持ちながら、思索、行動を重ねてきた人物です。今後の活躍が期待されます。

鬼丸くんとのお会い。はじめは祈りでした。2000年の大晦日「21世紀こそは平和な世紀でありますように」私は町の人々と共に原爆の残り火“こころ”を蠟燭に灯しながら、そう祈りました。このような平和への祈りの共同を全国に呼びかけていた一人が鬼丸くんであり、それに意気を感じた一人が僕でした。残念ながら21世紀は戦争からはじまりました。それでも僕はあの時のみんなのピュアな祈りを大切にしていきたいです。僕にできること、そしてみなさん一人一人にできることを共に考えながら歩いていけたらなと思っています。（川村幸司）

●代表が地雷廃絶日本キャンペーン（JCBL）地域コーディネーターに

2001年1月にテラ・ルネッサンスは地雷廃絶日本キャンペーンに団体会員として参加しました。JCBLは地雷廃絶への国際的な活動が盛り上がる中で、日本で地雷問題に取り組むNGOの連合体として発足。今回、テラ・ルネッサンスがJCBLに加盟と同時に、代表・鬼丸が地域コーディネーターへの就任が決定。担当は関西地域。関西地域での地雷問題への啓発。個人、団体のネットワークに取り組む。

JCBL サイト <http://www.jca.ax.apc.org/~banmines/>

☆北川泰弘（地雷廃絶日本キャンペーン代表）さん☆

鬼丸昌也さんにお会いしたのは、1月下旬の事である。お名前からして怖い顔の方と思っていたら、やさ顔の美男子で、福岡のご両親から自立して、京都で貧乏生活をしながら大学の勉強と、人道的な立場で地雷の廃絶を訴える講演会活動をやっておられるとの事で感動した。JCBLは関西の地域コーディネーターをお願い出来る方がなく困っている所だったので鬼丸さんにご就任をお願いし、ご承諾を頂き、感謝している。

「結晶母」の発刊を祝して

私どもの住んでいる日本は立春を迎え、時折襲ってくる寒波にもめげず、私の通っている憲政記念館の白梅は満開、早咲きの桜さえ、ちらほら花を咲かせています。日一日と春を告げる芽吹きを見るにつけ、自然の営みの素晴らしさを感じるこの頃です。そして冬の寒さに縮んでいたように閉塞している心も開かれる季節を迎える時を大切にしたいと思います。今まで気がつかなかったことに気づくことです。自分中心の狭い世界から一歩踏み出し、広い視野に目覚める時でもあるのです。



相馬雪香さん

戦争に終始した 20 世紀に別れを告げ、21 世紀は平和な世紀と夢見ていた望みは、昨年 9 月 11 日、ニューヨークの貿易センタービルを襲った、あのテロ事件であえなく消されてしまいました。私どもは夢見る世界から現実の世界に引き戻されたのでした。そこには私どもが気づいていなかった厳しい現実がありました。ただ平和を望むだけでなく、その為になさなければならないことがあること、具体的に出来ることから始めようじゃないかと気づかれ「テラ・ルネッサンス」を立ち上げられた鬼丸さんと、その呼び掛けに多くの方々が応えられたことは、本当に素晴らしいことです。

具体的にはアフガニスタンに埋められている地雷の撤去に挑戦されています。今まで考えてもいなかったことに気づかれた心の扉が開かれたということでしょうか。そして、心を開くと思いがけないことが出来る。役があるという自覚は、新しい春の息吹のように希望を与えてくれます。この機会に心を開く習慣をぜひ身につけようではありませんか。物理的な地雷と同時に、人と人との関係の中に知らない間に埋められている「心の中地雷」があることに気づくことがあります。この地雷の撤去を蔑ろに出来ないことをしみじみ感じています。

何はともあれ、「結晶母」の発刊おめでとうございます。

相馬雪香さん (特) 難民を助ける会会長、(財) 尾崎行雄記念財団副会長

相馬雪香さんとは、国際 MRA 日本協会という NGO を通じて、知り合うことができました。日本 NGO 界の草分け的存在「難民を助ける会」の創設者であり、現在でも会長を務めていらっしゃいます。難民を助ける会を創設したきっかけは、カナダの友人からの手紙に、ボートピープルを受け入れない日本人への批判があり、古来からの日本人にある「困ったときはお互い様」の精神を示そうと、持ち前のバイタリティーで会を創設され、資金も事務所もないところから 4 ヶ月間で 1 億 2 千万円を集められました。

今年、卒寿を迎えられましたが、なおも日本と世界の相互理解、友好親善活動に取り組まれています。今回のメッセージも快くお引き受け下さりました。祥伝社より「あなたは子どもに何を伝え残しますか」という著書を刊行されています。ぜひ一読ください。

相馬先生。未来の子供たちをを想う仲間、先輩として、一緒に歩んでまいりましょう。

平和セミナー（講演会）を開催しませんか？

ひとりでも多くの方に、地雷のこと、地雷を通じて知った世界の現状をお知らせしたい。そう願って、各地で講演活動を行ってきました。現在、学校などの教育機関、経営者団体、NGO、各種団体などで行ない、約3,000名もの方々に聞いていただくことができました。その中から、地雷廃絶へ向けて新しい取り組みが生れてきています。

- ・7回もの講演を行なった宮崎県では、講演を聴いた高校生を中心に「地雷ゼロ宮崎」という団体を結成し、大人たちをも巻き込んで、募金や署名活動に取り組んでいる。
- ・奈良県のある小学校では、講演後、児童が自主的に駅前で募金活動を始め、40,000円もの募金を集めた。

講演は世界の実情を深く、多角的に知る上で効果的です。また、自分たちが次世代のために、子どもたちの明日のために、何をしたらよいのかを考える重要なきっかけを与えてくれます。今年も講演活動に全力を傾けてまいります。

どうぞ皆様の地域で講演を開催されませんか。各種会合、ミーティングなど、どのような場にも伺います。また、今年は学校で総合的学習が本格的に開始される年です。お近くの学校、PTAをご紹介くださるのも助かります。

ひとりでも多くの方と、地球の現状を分かち合い、地球の変革に向けて動き出すきっかけ作りにご協力お願いいたします。講演のご相談は、テラ・ルネッサンス事務局（FAX075-466-5782）までご連絡ください。

●平和セミナー（講演）に参加して・・・

- ・これからはもっともっと周りの人に愛をもって優しく生きていきたいと思いました。（20代女性）
- ・何ができるんだろう。僕にしかできないこと。まずは伝えたい。今夜の衝撃と感動を。そして11世紀後の同じ世代のために、命をかけたいと思いました（中学生・男性）
- ・「愛の反対は無関心」とても心に響きました。毎日の生活を考え直す必要があります。（40代女性）
- ・たとえこの世界が変わらなくとも、私は「変わりたい」という気持ちは、一生持っていようと思いました。（小学生女性）
- ・自分が何かしようと思わなかったら、全然前に進まないってことが分かった。誰かがやってくれる。なんて思っているだけじゃ意味がない。自分がやるって思うようにならないと……。 （高校生女性）

演題『地雷畑で見た夢』～地雷廃絶へ向けて～

講師：鬼丸 昌也（テラ・ルネッサンス代表）

【講師プロフィール】

福岡県出身。1979年11月生れ。高校在学中にアリヤラトネ博士（スリランカ農村開発指導者）と出会い、『すべての人々に未来を造る力がある』と教えられる。1998年、立命館大学法学部入学。様々なNGO活動に参加。異文化対話こそが平和創造の鍵だと気づく。2001年、初めてカンボジアを訪れ、地雷原を歩く。地雷被害の悲惨さと、地雷を通じて見えてくる世界の諸問題の原因を、多くの人に伝えるために講演活動を始める。現在、地雷撤去支援団体『テラ・ルネッサンス』代表。地雷廃絶日本キャンペーン地域コーディネーター。

●テラ・ルネッサンスと一緒に創りあげませんか 会員募集！

テラ・ルネッサンスは世界平和の実現を目指す市民社会組織（CSO）です。多くの市民が参加することで、世界を変える力が生まれます。テラ・ルネッサンスの趣旨、活動に賛同いただける方は、ぜひメンバーとして、テラ・ルネッサンスの活動にご参加ください。皆様の想像力と行動が、確実に世界を変えていきます。会費納入は下記の郵便振替をご利用ください。

【会員特典】 ・活動報告、世界の平和問題リポート掲載の『結晶母』を贈呈
・テラ・ルネッサンス主催イベントへの優待

【会員種別】 入会金 1,000円（個人会員の場合、初年度は4,000円、2年目から会費のみ3,000円）

会員	—□ 個人会員	3,000円/年間
	—□ ジュニア会員	1,000円/年間（高校生以下）
サポーター	—□ 個人サポーター	30,000円/年間
	—□ 団体会員	50,000円/年間

☆今後の予定☆

3月7日（木） 講演 京都平安ライオンズクラブ（京都）

3月14日（木） 月例ミーティング 18：30～（事務局）

3月19日（火）

～24日（日） カンボジアスタディツアー

3月30日（土） 講演 コスモライフ研究会（埼玉）

4月11日（木） 月例ミーティング 18：30～（未定）

4月27日（土） 講演 テラ・ルネッサンス（京都）

※ 4月27日の講演会スタッフを募集中！京都にたくさんの新入生が来る季節。

テラ・ルネッサンスをアピールする絶好の機会です。一緒に創りあげませんか！



ボランティアスタッフ募集

昨年10月に発足した『テラ・ルネッサンス』。たくさんの方々のご参加を頂きながら、地雷撤去支援を中心に活動を展開してきました。活動の規模が大きくなるにつれ、それに伴う事務作業も増えてきています。また、もっと多くの方に『テラ・ルネッサンス』を知っていただくために、結晶母の頒布、ホームページの運営など、やるべきことは山積しております。そこでボランティアスタッフを募集いたします。事務局での事務作業の他、登録をして頂き、イベントの運営スタッフとして参画するなど、たくさん仕事はあります。ぜひともボランティアスタッフとしてご登録下さい。お問い合わせは事務局（075-466-5780）まで。

テラ・ルネッサンス 代表 鬼丸昌也

〒603-8337 京都市北区大將軍南一条町 46-307 TEL075-466-5780 FAX075-466-5782

URL <http://www.terra-r.jp> e-mail tokotowa@anet.ne.jp

郵便振替 加入者名 テラ・ルネッサンス基金 00950-7-133760